

桐生・みどり地区新高等学校の基本構想

平成30年7月17日

群馬県教育委員会

桐生高等学校と桐生女子高等学校の統合による新高等学校

I 桐生高等学校と桐生女子高等学校の統合による新高等学校の設置

桐生・みどり地区県立高等学校再編整備計画に基づき、群馬県立桐生高等学校と群馬県立桐生女子高等学校を統合し、高いレベルの進学を目指す新高等学校を開設する。

なお、通信制課程については、群馬県立桐生女子高等学校通信制課程を引き継ぐ。

II 新高等学校の概要

1 設置場所、課程等

(1) 設置場所

群馬県立桐生高等学校校地（桐生市美原町1番39号）

(2) 課程・学科等

全日制課程 普通科：募集定員 男女240人（6学級）

理数科：募集定員 男女 80人（2学級）

(3) 開校時期

平成33年4月

(4) 移行措置（平成31、32年度の桐生高等学校及び桐生女子高等学校入学者への対応）

ア 学 籍 平成33年4月に新高校へ転学

イ 教育課程 新高校への移行を見通した3年間の教育課程を編成

ウ 部 活 動 3年間継続して取り組めるように編成し、統合前から交流を促進

2 教育構想

(1) 教育目標

生徒の自由な発想・チャレンジ精神を尊重し、幅広い知識の獲得とその活用を通して、未来を牽引する資質・能力を育成する。

(2) 育てたい資質・能力

ア 知識・技能を活用する力

- ・幅広い分野の知識・教養及び深い学びへ向かう力
- ・課題の発見・解決や新しい創造のための思考力・判断力・表現力

イ 主体的に生きる力

- ・失敗を恐れず挑戦する行動力、最後まで粘り強く取り組める継続力
- ・集団の中で協働を図る力・柔軟性・リーダーシップ

ウ 社会と世界平和に貢献する力

- ・伝統文化の重視・継承と異文化への理解
- ・自他の幸福を尊重し、社会に貢献する奉仕の精神

(3) 特色ある教育

ア 高い学力の育成

【普通科】文理の枠を超えた探究的な学習と実践的な英語教育の推進

【理数科】理数分野の理解を深め専門性を追究する教育の推進

イ 生き抜く力の育成

- ・ 桐生高校、桐生女子高校の伝統と実績を継承した部活動や学校行事の充実
- ・ 各種専門機関との連携によるキャリア教育の充実

ウ グローバルリーダーの育成

- ・ 高度な言語運用能力の育成と国際感覚を磨く取組の推進
- ・ 地域や国際社会との交流の推進

3 施設整備

特色ある教育内容を実現するため、既存校舎等の充実を図る。

Ⅲ 新高等学校の教育課程

1 教育課程編成の基本方針

- (1) 生徒一人一人の進路希望を実現するため、普通科では2類型制、理数科では2コース制を導入し、高いレベルの進学に対応する学力を身に付けさせる。
- (2) 生徒の興味関心や進路希望に応えられるよう、選択科目等を適切に設定するとともに、「主体的・対話的で深い学び」を積極的に推進することで、「確かな学力」の向上を図る。
- (3) 探究的な学習の充実により、これからの社会において求められる、答えのない課題に対して粘り強く取り組む態度や最適解を見いだす力を育成するとともに、探究的な学習と連動したキャリア教育プログラムにより、生徒の社会貢献意識の高揚と進路目標の達成を図る。
- (4) 桐生高校で培ったスーパーサイエンスハイスクールのノウハウを引き継ぎ、理数教育の充実を図る。
- (5) 桐生女子高校で培った英語科における教育を引き継ぎ、英語教育の充実を図るとともに、国際性を身に付けさせるための取組を行う。
- (6) 1週間の授業時間は、LHRを含めて34時間とする。

2 教育課程編成の工夫

- (1) 普通科では、1年次は基礎学力の充実を図るため、共通科目の履修を主とする。2年次からは、生徒の進路希望に対応するため文型・理型の2類型を設け、それぞれ系統的な学習を充実させる。3年次は、各類型ごとに学習内容を専門的に深めるとともに、進路希望に応じて幅広い科目選択が可能となる教育課程を編成する。

- (2) 理数科では、1年次は基礎学力の充実を図るため、共通科目の履修を主とする。2年次は、理数科目を中心に、学習内容を専門的に深められる学習を充実させる。3年次からは、コースⅠ・コースⅡ（仮称）の2コースを設け、コースⅠでは主に医学、薬学、工学系等への進学を希望する者のための教育課程を編成する。コースⅡでは主に農学、看護学系等や、理数の学びを生かして主に経済学部等の社会科学系への進学を希望する者のための教育課程を編成する。
- (3) 一人一人の生徒にきめ細かな指導を行い、学力の定着及び向上を図るため、適宜、習熟度別指導や少人数指導を実施する。
- (4) 総合的な学習の時間の単位数を増加して、探究的な学習やキャリア教育プログラムを充実させる。1年次は「学びの技法*」の習得と職業観の育成を、2年次は「学びの技法」の活用と志望校の明確化を、3年次は探究成果の発信と進路目標の達成を図る。
- (5) 海外研修（希望者）を複数回実施したり、英語教育の充実を図ったりすることで、グローバルリーダーの育成を図る。

* 「学びの技法」・・・探究的な学習を進めるに当たって必要となる、学び方、ものの考え方、学ぶ態度等のこと。桐生高校では、ワークシート的な要素を併せ持つ同名のテキストを独自に作成し、「探究基礎Ⅰ」で使用している。

○ 探究的な学習

問題解決的な活動（「課題設定」、「情報収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」）を繰り返し行いながら、「学びの技法*」を習得するとともに、その活用方法を学ぶ。

このような学習により、知識・情報・技能が加速度的に更新されていくこれからの社会において、答えのない課題に対して粘り強く取り組む態度を育てるとともに、最適解を見いだす力を身に付けさせる。これらの態度や能力は、英語によるレポート作成や発表とともに、新しい大学入試や大学での学びにも直接役立つものと考えられる。

3 教育課程の編成

(1) 設置する教科・科目

ア 共通履修科目（普通科）

必修科目や基礎科目は1年次におおむね履修し、2年次から類型ごとに系統的な学習に取り組めるよう、科目を設置する。

* 学校設定科目

	1年	2年		3年	
		文型	理型	文型	理型
国語	国語総合(5)	現代文B(3) 古典B(3)	現代文B(2) 古典B(3)	現代文B(3) 古典B(3)	現代文B(3) 古典B(2)
地歴	世界史A(2)	日本史B(3)	地理A(2)		
公民	現代社会(2)				
数学	数学I(3) 数学A(2)	数学II(4) 数学B(2)	数学II(3) 数学B(2) 数学III(1)		数学III(5) 数学研究A*(2)
理科	化学基礎(2) 生物基礎(2)	地学基礎(2)	物理基礎(2) 化学(3)		化学(3)
保健体育	体育(2) 保健(1)	体育(2) 保健(1)	体育(2) 保健(1)	体育(3)	体育(3)
外国語	コミュニケーション英語I(4) 英語表現I(2)	コミュニケーション英語II(4) 英語表現II(2)	コミュニケーション英語II(4) 英語表現II(2)	コミュニケーション英語III(4) 英語表現II(2)	コミュニケーション英語III(4) 英語表現II(2)
家庭		家庭基礎(2)	家庭基礎(2)		
情報	社会と情報(2)				

※ () 内の数字は、単位数を表す。(例：国語総合(5)は、「国語総合 5単位」の意)

イ 共通履修科目（理数科）

必履修科目は1、2年次におおむね履修し、3年次からコースごとに系統的な学習に取り組めるよう、科目を設置する。

	1年	2年	3年	
			コースⅠ（仮称）	コースⅡ（仮称）
国語	国語総合（4）	現代文B（2） 古典B（3）	現代文B（3） 古典B（2）	現代文B（3） 古典B（2）
地歴	世界史A（2）	地理A（2）		
公民	現代社会（2）			
保健体育	体育（2） 保健（1）	体育（2） 保健（1）	体育（3）	体育（3）
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ（4） 英語表現Ⅰ（2）	コミュニケーション英語Ⅱ（4） 英語表現Ⅱ（2）	コミュニケーション英語Ⅲ（4） 英語表現Ⅱ（2）	コミュニケーション英語Ⅲ（4） 英語表現Ⅱ（2）
家庭		家庭基礎（2）		
情報	社会と情報（2）			
理数	理数数学Ⅰ（5） 理数化学（2） 理数生物（3）	理数数学Ⅱ（4） 理数数学特論（2） 理数物理（4） 理数化学（3） 課題研究（1）	理数数学Ⅱ（5） 理数数学特論（2） 理数物理（5） 理数化学（3）	理数数学Ⅱ（5） 理数数学特論（2）

※ （ ）内の数字は、単位数を表す。（例：国語総合（4）は、「国語総合 4単位」の意）

コースⅠ・・・主に医学、薬学、工学系等への進学を希望する者のためのコース

コースⅡ・・・主に農学、看護学系等や、理数の学びを生かして、主に経済学部等の社会科学系への進学を希望する者のためのコース

ウ 選択科目（普通科）

1年次は、芸術科において音楽Ⅰ（2）と美術Ⅰ（2）の選択科目を設置する。2、3年次は、一人一人の進路希望に応じて学習の深化・発展を図るため、類型ごとに学校設定科目や専門科目を設置する。

* 学校設定科目

	2年		3年	
	文型	理型	文型	理型
国語			国語研究*（4）	
地歴	世界史B（3） 地理B（3）		世界史研究*（5） 日本史研究*（5） 地理研究A*（5）※1 地理研究B*（4）	地理B（4）※3
公民			政治・経済（2）※2 倫理（2） 現社研究*（4）	政治・経済（2） 倫理（2） 現社研究*（4）
数学			数学研究B*（4）	
理科		物理（2） 生物（2）	化学研究*（2） 生物研究*（2） 生物研究*（2） 地学研究*（2）	物理（4） 生物（4）
英語			時事英語（4）※4	

※1 地理研究A（5単位）を選択した場合、地理研究B（4単位）は選択できない。

※2 地理研究B（4単位）、政治・経済と倫理を合わせて4単位、現社研究（4単位）のいずれかを選択する。

※3 地理B（4単位）、政治・経済と倫理を合わせて4単位、現社研究（4単位）のいずれかを選択する。

※4 理科科目（化学研究、生物研究、地学研究のうちから2科目を選択。うち1科目は生物研究とする）、若しくは、時事英語（4単位）のいずれかを選択する。

エ 選択科目（理数科）

1年次は、芸術科において音楽Ⅰ（2）と美術Ⅰ（2）の選択科目を設置する。3年次は、一人一人の進路希望に応じて学習の深化・発展を図るため、コースごとに学校設定科目や専門科目を設置する。

* 学校設定科目

	3年	
	コースⅠ（仮称）	コースⅡ（仮称）
地歴	地理 B (3)	世界史 B (5) 地理 B (5) 地理 B (3) ※1
公民	政治・経済 (3)	政治・経済 (3)
理数		理数生物 (5) 理数化学 (3) 理数科学研究* (3)

※1 地理 B（5単位）を選択した場合、地理 B（3単位）は選択できない。

オ 探究的な学習（総合的な学習の時間）

桐生高校で培ったスーパーサイエンスハイスクールのノウハウを引き継ぎ、探究的な学習を充実させる。問題解決的な活動（「課題設定」、「情報収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」）を繰り返し行いながら、社会を生き抜く資質・能力を身に付けさせる。また、桐生女子高校で培った英語科における教育を引き継ぎ、実践的な英語運用能力と国際性を身に付けさせる。

学年	単位数	内 容 等
1年	2単位	<p>探究的な学習に必要な資質・能力を身に付けさせるために作成した独自のテキストを用いて、講義と演習を組み合わせた授業を行う。また、研究者や地域の人材等を講師に招き、様々な分野の講義を行う。</p> <p>生徒は、興味・関心に応じて各自で講義を選択し、分野ごとに提示された課題の解決に向けて、生徒間で協働しながら探究的な学習を行う。学習の成果は、ポスターで発表する。</p> <p>このような活動を繰り返し行いながら、「学びの技法」（探究的な学習を進めるに当たって必要となる、学び方、ものの考え方、学ぶ態度等のこと）の習得を図る。</p>
2年	2単位 (1単位) ※1	<p>ICTを活用したデータ分析やレポート・論文の作成方法等を身に付けるために、講義と演習を組み合わせた授業を行う。また、1年次の学習成果を元に、「学びの技法」を活用して、自分たちで設定したテーマについて課題研究を行う。</p> <p>課題研究では、興味・関心に応じて、グループを編成して研究を進める。学習の成果は、ポスターで発表する。探究の過程においては、適宜、ICTクラウドサービス等を活用する。また、必要に応じて外部アドバイザー等から助言を得る。専門性の高い課題研究において効果が期待される場合には、大学や研究機関等と連携した研究活動を行う。さらに、生徒の実態に応じて、英語による発表や質疑応答を行うことで、実践的な英語運用能力の育成を図る。</p>
3年	1単位	<p>2年次の課題研究を継続し、プレゼンテーションソフト等により校内外の発表会で学習成果を発表する。その際、必要に応じて研究者等から助言を得る。最終的に、研究内容を日本語や英語で論文形式にまとめる。</p> <p>英語力については、卒業までにCEFRのB1レベルに達することを目標とし、全生徒が「実用英語技能検定」を受検する。</p>

※1 理数科においては、総合的な学習の時間（1単位）と課題研究（1単位）を履修する。

(2) 特色ある科目の内容（学校設定科目等）

ア 普通科

【文型】

国語研究	「国語総合」「現代文B」「古典B」の学習内容を基礎とし、発展的題材に取り組み、国語的な見方や考え方を深め、思考力や判断力の向上を図る。
世界史研究	これまでの世界史の学習内容を基礎とし、近現代を中心に、古代から現代までの世界史の基本的な事柄を整理しながら、日本史とのつながりも意識して、歴史的思考力の向上を図る。
日本史研究	これまでの日本史の学習内容を基礎とし、近現代を中心に、我が国の歴史の展開について世界的視野に立って整理しながら、歴史的思考力の向上を図る。
地理研究A 地理研究B	現代世界の地理的な諸課題について考察するとともに、現代世界の地理的事象を系統地理的に整理しながら、地理的な見方や考え方を深め、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
現社研究	「現代社会」の学習内容を基礎とし、現代社会と人間についての理解、現代社会の基本的な問題についての考察を深め、自らの在り方生き方を考察する力や、良識ある公民として必要な能力を高める。
数学研究B	「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」の学習内容を基礎とし、発展的題材に取り組み、数学的な見方や考え方を深め、思考力や判断力の向上を図る。
化学研究	「化学基礎」の内容を整理するとともに、実験結果に対する考察力を養うなど、総合的・発展的に考察する力を身に付ける。
生物研究	「生物基礎」の内容を整理するとともに、実験結果に対する考察力を養うなど、総合的・発展的に考察する力を身に付ける。
地学研究	「地学基礎」の内容を整理するとともに、実験結果に対する考察力を養うなど、総合的・発展的に考察する力を身に付ける。

【理型】

現社研究	「現代社会」の学習内容を基礎とし、現代社会と人間についての理解、現代社会の基本的な問題についての考察を深め、自らの在り方生き方を考察する力や、良識ある公民として必要な能力を高める。
数学研究A	「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」の学習内容を基礎とし、発展的題材に取り組み、数学的な見方や考え方を深め、思考力や判断力の向上を図る。

イ 理数科

理数科学研究	「理数物理」「理数化学」「理数生物」の内容を整理するとともに、実験結果に対する考察力を養うなど、総合的・発展的に考察する力を身に付ける。
--------	--

(3) 教育課程表（案）

1年次の学習の基礎の上に、2年次以降、学習の系統性を重視した科目を配列する。

【普通科】

単 位	1 学 年	2 学 年		3 学 年			
		文型	理型	文型	理型		
1	国 語 総 合	現 代 文 B	現 代 文 B	現 代 文 B	現 代 文 B		
2							
3			古 典 B				
4		古 典 B		古 典 B	古 典 B		
5							
6	世 界 史 A		地 理 A		【地歴・公民選択】 地理B④、現社研究④、 政治・経済②+倫理②		
7		日 本 史 B		【選択A】 国語研究、数学研究B			
8	現 代 社 会		数 学 II				
9							
10	数 学 I	【地歴選択】 世界史B、地理B			数 学 III		
11			数 学 B	【地歴選択】 世界史研究、日本史研究、 地理研究A			
12							
13	数 学 A	数 学 II	数 学 III				
14			物 理 基 礎				
15	化 学 基 礎				数 学 研 究 A		
16			化 学	【地歴・公民選択】 地理研究B④、現社研究④、 政治・経済②+倫理②			
17	生 物 基 礎	数 学 B			化 学		
18							
19	体 育	地 学 基 礎	【理科選択】 物理、生物		【理科選択】 物理、生物		
20						【選択B】 生物研究②+化学研究② 生物研究②+地学研究②	
21	保 健	体 育	体 育				
22	【芸術選択】						
23	音楽I、美術I	保 健	保 健	時事英語④			
24	コミュニケーション英語I	コミュニケーション英語II	コミュニケーション英語II	体 育	体 育		
25							
26							
27						コミュニケーション英語III	コミュニケーション英語III
28				英 語 表 現 I	英 語 表 現 II	英 語 表 現 II	
29							
30	社 会 と 情 報	家 庭 基 礎	家 庭 基 礎				
31					英 語 表 現 II	英 語 表 現 II	
32	ホームルーム活動	ホームルーム活動	ホームルーム活動				
33	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	ホームルーム活動	ホームルーム活動		
34					総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	

※ 選択科目の丸数字は、単位数を表す。(例：地理B④は、「地理B 4単位」の意)

【理数科】

単 位	1 学 年	2 学 年	3 学 年	
			コースⅠ（仮称）	コースⅡ（仮称）
1	国 語 総 合	現 代 文 B	現 代 文 B	現 代 文 B
2				
3		古 典 B	古 典 B	古 典 B
4				
5	世 界 史 A	地 理 A	【地歴・公民選択】 地理B、政治・経済	【地歴・公民選択】 地理B、政治・経済
6				
7	現 代 社 会	体 育	体 育	体 育
8				
9	体 育	保 健	体 育	体 育
10				
11	保 健	コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅲ	コミュニケーション英語Ⅲ
12				
13	【芸術選択】 音楽Ⅰ、美術Ⅰ	英 語 表 現 Ⅱ	英 語 表 現 Ⅱ	英 語 表 現 Ⅱ
14				
15	コミュニケーション英語Ⅰ	家 庭 基 礎	理 数 数 学 Ⅱ	理 数 数 学 Ⅱ
16				
17	英 語 表 現 Ⅰ	理 数 数 学 Ⅱ	理 数 数 学 Ⅱ	理 数 数 学 Ⅱ
18				
19	社 会 と 情 報	理 数 数 学 特 論	理 数 数 学 特 論	理 数 数 学 特 論
20				
21	理 数 数 学 Ⅰ	理 数 物 理	理 数 物 理	【理数選択】 理数化学、理数科学研究
22				
23	理 数 化 学	理 数 化 学	理 数 化 学	【選択C】 世界史B、地理B、 理数生物
24				
25	理 数 生 物	理 数 化 学	理 数 化 学	【選択C】 世界史B、地理B、 理数生物
26				
27	理 数 生 物	理 数 化 学	理 数 化 学	【選択C】 世界史B、地理B、 理数生物
28				
29	理 数 生 物	理 数 化 学	理 数 化 学	【選択C】 世界史B、地理B、 理数生物
30				
31	理 数 生 物	理 数 化 学	理 数 化 学	【選択C】 世界史B、地理B、 理数生物
32				
33	ホームルーム活動	課 題 研 究	ホ ー ム ル ー ム 活 動	ホ ー ム ル ー ム 活 動
34	総合的な学習の時間	ホ ー ム ル ー ム 活 動	ホ ー ム ル ー ム 活 動	ホ ー ム ル ー ム 活 動
		総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間

(4) 平成31、32年度の桐生高等学校及び桐生女子高等学校入学者の教育課程

平成31、32年度入学者については、前述(3)の教育課程表（案）を踏まえて両校が定め、新高等学校の教育内容を先取りするものとする。

【参考】学校の沿革

	桐生高等学校	桐生女子高等学校
明治41年 5月		山田郡立桐生高等女学校として開校
大正 6年 4月	桐生町立桐生中学校として開校	
大正 7年 4月		群馬県立桐生高等女学校と改称
大正10年 3月	群馬県立桐生中学校と改称	
昭和23年 4月	学制改革により 群馬県立桐生高等学校と改称	学制改革により 群馬県立桐生女子高等学校と改称 通信制課程開設
昭和23年10月	定時制課程開設	
昭和24年 4月		定時制課程開設
昭和56年 3月	定時制課程廃止	定時制課程廃止
平成元年 4月		英語科新設
平成10年 4月	理数科（男女共学）新設	
平成19年 9月		創立100周年記念式典挙行
平成29年11月	創立100周年記念式典挙行	
平成30年 4月		英語科募集停止
平成33年 4月	新高等学校開校 (桐生高校創立104年、桐生女子高校創立113年)	

桐生南高等学校と桐生西高等学校の統合による新高等学校

I 桐生南高等学校と桐生西高等学校の統合による新高等学校の設置

桐生・みどり地区県立高等学校再編整備計画に基づき、群馬県立桐生南高等学校と群馬県立桐生西高等学校を統合し、大学進学を始め多様な進路を実現できる新高等学校を開設する。

II 新高等学校の概要

1 設置場所、課程等

(1) 設置場所

群馬県立桐生西高等学校校地（桐生市相生町3丁目551番地の1）

(2) 課程・学科等

全日制課程 普通科（単位制）：募集定員 男女240人（6学級）

(3) 開校時期

平成33年4月

(4) 移行措置（平成31、32年度の桐生南高等学校及び桐生西高等学校入学者への対応）

ア 学 籍 平成33年4月に新高校へ転学

イ 教育課程 新高校への移行を見通した3年間の教育課程を編成

ウ 部 活 動 3年間継続して取り組めるように編成し、統合前から交流を促進

2 教育構想

(1) 教育目標

生徒の人格形成に努め、確かな学力と豊かな人間性の向上を図るとともに、様々な課題を主体的に解決し、地域のリーダーとして幅広く活躍できる資質・能力を育成する。

(2) 育てたい資質・能力

ア 時代の変化を乗り越える「基礎力」

- ・社会の形成者としての高い規範意識と他者を尊重する心
- ・確かな知識・技能と思考力・判断力・表現力、生涯にわたり学ぶ力

イ 社会へつながる「応用力」

- ・社会の様々な分野に目を向け、自ら課題を発見し、解決に導く力
- ・多様な人々と協働するコミュニケーション力と主体性

ウ 未来を切り拓く「実践力」

- ・豊かな個性と自立心、目標を持って挑戦し続ける力
- ・未来への責任を自覚し、幅広く社会の発展に寄与するリーダーシップ

(3) 特色ある教育

ア 進路希望に応じたきめ細かな指導

- ・ 四年制大学を中心として、幅広い進路希望に対応するコース制や選択科目の設置
- ・ 主体的・対話的で深い学びの推進と少人数指導の充実

イ 学校行事の充実と部活動の活性化

- ・ 桐生南高校、桐生西高校の伝統と実績を継承
- ・ 生徒主体の学校行事と生徒会活動の充実、広大な校地を生かした部活動の活性化

ウ 地域社会との連携

- ・ 地域社会の理解と交流の推進
- ・ 地域への貢献とボランティア活動の充実

3 施設整備

特色ある教育内容を実現するため、既存校舎等の充実を図る。

Ⅲ 新高等学校の教育課程

1 教育課程編成の基本方針

- (1) 単位制の長所を十分に生かし、大学進学を始めとする生徒一人一人の進路希望や興味・関心に柔軟に対応できるよう、編成を工夫する。
- (2) 学習意欲の特に高い生徒への対応として、ハイレベルコース（仮称）を、入学段階から設置する。
- (3) 入学時より系統的なキャリア教育を推進し、主体的に進路を選択・決定できる能力や態度を育成するとともに、単位制の学習を支えるためのきめ細かなガイダンスを実施する。
- (4) 学校の様々な教育活動を通して、これからの時代に求められる課題解決力や実践的なコミュニケーション能力の習得を図り、将来、地域のリーダーとして幅広く活躍できる資質・能力を育成する。
- (5) 1週間の授業時間は、LHRを含めて32時間とする。

2 教育課程編成の工夫

- (1) 1年次は、基礎学力の充実を図るため、全員が共通した科目を履修する。2年次からは、生徒一人一人の興味・関心や進路希望に対応するため、多彩な選択科目から履修科目を生徒各自が選択する。
- (2) 国公立大学を含めた大学入試に対応した科目を始め、多様な進路希望に対応した選択科目を設置するとともに、実技系科目においては、2・3年次共通の選択科目を開講するなど、年次を超えた柔軟な教育課程を編成する。

- (3) ハイレベルコース（仮称）では、生徒一人一人の進路希望に適切に対応するため、国公立大学・私立大学の入試に対応した科目を中心に、多彩な選択科目を設定し、高い学力を育成する。
- (4) 一人一人の生徒にきめ細かな指導を行い、学力の定着及び向上を図るため、1年次から、習熟度別指導や少人数指導を実施する。
- (5) 地域の多様な教育資源や人材を積極的に活用するなど、地域の特性を生かし、実践的な学習・進路指導を展開する。

○ 進学重視型単位制高校

- ・「単位制」とは、生徒一人一人が、多彩な選択科目の中から、進路希望や興味・関心に合わせて学ぶ科目を選択し、「自分の時間割」をつくって学習するシステムである。
- ・新高校は、国公立大学や私立大学の各入試に対応した選択科目を充実させ、生徒の進学を的確にサポートするとともに、その他の多様な進路にもきめ細かに対応できる「進学重視型単位制高校」とする。

3 教育課程の編成

(1) 教育課程表と設置する教科・科目（案）

	1 年 次		2 年 次		3 年 次				
		ハイレベル コース(仮称)		ハイレベルコース (仮称)		ハイレベルコース (仮称)			
1		(左欄と共通)	現代文B	現代文B	現代文B	現代文B			
2			国語総合	古典B	古典B	古典B	古典B		
3				現代社会	現代社会	体育	体育		
4			世界史A	現代社会	現代社会	体育	体育		
5			数学 I	数学 II	数学 II	コミュニケーション 英語 III	コミュニケーション 英語 III		
6								数学A	数学B
7			化学基礎	体育	体育	選択科目 単位数: 17 ※(B)から 所定の単位数を選択	選択科目 単位数: 18 ※(D)から 所定の単位数を選択		
8			地学基礎	保健	保健				
9			体育	コミュニケーション 英語 II	コミュニケーション 英語 II				
10			保健	英語表現 II	英語表現 II				
11			音楽 I	家庭基礎	英語表現 II				
12			コミュニケーション 英語 I	選択科目 単位数: 9 ※(A)から 所定の単位数を選択	家庭基礎			選択科目 単位数: 7 ※(C)から 所定の単位数を選択	
13					英語表現 I				家庭基礎
14			社会と情報						
15			ホームルーム						
16			総合的な学習の時間						
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									

選択科目(例)

※ 丸数字は単位数の例

2年次 (A)	3年次 (B)	ハイレベルコース(仮称)	
		2年次 (C)	3年次 (D)
古典講読②、日本史B③、地理A②、一般社会②、数学B②、一般数学②、物理基礎③、化学②、生物基礎②、生物基礎③、美術 I ②、書道 I ②、マーケティング②、ファッション造形基礎②、英語講読②	国語表現③、詳解古典③、世界史概説⑥、日本史概説⑥、グローバル地理②、政治・経済③、数学Ⅲ⑥、テーマ数学 I A②、テーマ数学 I A II B⑥、数学特講②、物理⑥、化学③、生物⑥、一般理科②、医療生物③、理科特講③、スポーツ科学③、総合音楽③、総合美術③、書道表現③、陶芸③、英語特講③、医療英語②、イングリッシュ・スピーキング③、英語理解③、地域と食文化③、スポーツと栄養③、情報処理③、課題研究③、ビジネス実務③、子どもの発達と保育③、ファッション造形③、スポーツVI③	国語研究②、日本史B③、地理A②、地理B③、物理基礎③、化学②、生物基礎②、生物基礎③	国語表現③、詳解現代文③、詳解古典③、世界史概説⑥、世界史研究③、日本史概説⑥、日本史研究③、地理概説⑥、地理研究③、グローバル地理③、政治・経済③、政治・経済研究③、数学Ⅲ⑥、テーマ数学 I A II B⑥、数学特講③、物理⑥、化学③、生物⑥、ハイレベル化学③、理科特講③、英語特講③、英語理解③
2年次・3年次共通			
音楽 II ② スポーツ II ② フードデザイン②			

(2) 特色ある科目の内容（学校設定科目等）

【2年次】

古典講読	古典文法や漢文の句法を習得した上で、様々な古典作品を読み、古典に関する理解を深め関心を高める。
一般社会	現代社会における様々な事象や諸課題について学び、社会人として必要な幅広い知識と教養を身に付ける。
一般数学	社会人として必要な幅広い数学的教養を身に付け、数学を日常生活の中で有効に活用する能力を育てる。
マーケティング	マーケティングに関する知識と技術を習得し、マーケティングの意義や役割について理解するとともに、地域の活性化について研究するための基礎的な知識を身に付ける。
ファッション造形基礎	被服の構成、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得し、ファッション造形の基礎的な能力と態度を育てる。
英語講読	英文法・語法を習得した上で、様々な分野に関する英文を正確に読み、社会的事象に対する自分の考えを英語で表現する活動を通して、グローバル社会で求められる力を身に付ける。

【3年次】

詳解古典	1、2年次の学習内容を踏まえ、発展的な教材を用いることにより、古典に関する知識を深め、理解力を高める。
世界史概説	「世界史A」の学習内容を踏まえ、世界の歴史に関する様々な事象を考察し、世界史に関する幅広い知識を習得する。
日本史概説	「日本史B」の学習内容を踏まえ、日本の歴史に関する様々な事象を考察し、日本史に関する幅広い知識を習得する。
グローバル地理	地理に関する様々な事象を多面的・多角的に考察し、深い知識と思考力を養うとともに、それらをより積極的に活用する態度を育てる。
テーマ数学 I A	「数学I」「数学A」の学習内容を基礎として、事象を数学的に考察し処理する能力を高めるとともに、それらを活用する能力を育てる。
テーマ数学 I A II B	「数学I」「数学A」「数学II」「数学B」の学習内容を基礎として、事象を数学的に考察し処理する能力を高めるとともに、それらを活用する能力を育てる。
数学特講	「数学I」「数学A」「数学II」「数学B」「数学III」の学習内容を基礎として、進路希望等により発展的な題材に取り組み、数学的な見方や考え方を深めるとともに、より高次元な数学に積極的に取り組む態度を育てる。

一般理科	理科に関する様々な事象について学び、社会人として必要な幅広い理学的教養を身に付ける。
医療生物	医療や身体に関する内容を深く学び、将来医療に従事するための基礎的知識を習得し、ふさわしい態度を育てる。
理科特講	これまでの理科の学習内容を基礎として、進路希望等に応じて、発展的な題材に取り組み、理学的な見方や考え方を深める。
スポーツ科学	運動の特性について理解し、計画的な運動の実践を通して、高度な技能や指導法、審判法（ルール）を習得する。
総合音楽	音楽に関して総合的に学び、表現や鑑賞の活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。
総合美術	美術に関して総合的に学び、表現や鑑賞の活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。
書道表現	書道の歴史や表現技術について学び、表現や鑑賞の活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
陶芸	陶芸の歴史や特徴について学び、鑑賞や創作活動を通して、生涯にわたり陶芸に親しむ態度を育てる。
英語特講	難易度の高い英文を正確に理解し、社会的事象に対する自分の考えを英語で適切に表現する活動を通して、グローバル社会で求められている力を身に付ける。
医療英語	医療に関する事柄を題材として、国内外の英文を読み、考え方や知識に触れ、英語で説明する力を身に付ける。
イングリッシュ・スピーキング	様々なスピーキング活動を通して、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション等を英語で行う力を身に付ける。
地域と食文化	地域における食文化について深く学び、食文化と日常生活を結び付けることを通して、文化を伝承し、豊かな生活を構築するための知識や技能を習得する。
スポーツと栄養	スポーツと栄養との関係を分析し、スポーツ活動における食生活について考察し、効果的な献立や栄養摂取の方法等を習得する。
情報処理	1年次の「社会と情報」を基礎として、より高度な情報処理に関する知識や技能を習得するとともに、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。
課題研究	商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、地元企業と連携し、地域の活性化について研究する。

ビジネス実務	ビジネス実務に関する知識と技術を習得し、ビジネスにおけるコミュニケーションの意義や業務の合理化の重要性について理解するとともに、ビジネスの諸活動を円滑に行う能力と態度を育てる。
子どもの発達と保育	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得し、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。
ファッション造形	デザインや着用目的に応じたファッション造形の知識や技術を習得し、ファッション製品を創造的に製作する能力と態度を育てる。
スポーツⅥ	体づくり運動の専門的な理解とその活用を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、実生活に役立てることができるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展に関わることができる資質や能力を育てる。
英語理解	1、2年次での英語学習の内容を踏まえ、より発展的な題材に取り組み、英語に関する知識を深めるとともに、国際的な感覚を身に付ける。

【2年次・3年次共通】

音楽Ⅱ	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
スポーツⅡ	球技の専門的な理解と高度な技術の習得を目指した実践を通して、指導法や審判法（ルール）を習得し、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの指導や発展に関わることができる資質や能力を育てる。
フードデザイン	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得し、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。

※ ハイレベルコース（仮称）

【2年次】

国語研究	1年次の学習内容を踏まえ、発展的な教材を用いることにより、国語に関する知識を身に付けるとともに理解力を高める。
------	---

【3年次】

詳解現代文	1、2年次の学習内容を踏まえ、発展的な教材を用いることにより、現代文に関する知識を身に付けるとともに理解力を高める。
世界史研究	世界史に関する様々な事象を多面的・多角的に考察し、深い知識を習得するとともに歴史的思考力を育てる。

日本史研究	日本史に関する様々な事象を多面的・多角的に考察し、深い知識を習得するとともに歴史的思考力を育てる。
地理概説	「地理B」の学習内容を踏まえ、地理に関する様々な事象を考察し、地理に関する幅広い知識を習得する。
地理研究	地理に関する様々な事象を多面的・多角的に考察し、深い知識を習得するとともに地理的思考力を育てる。
政治・経済研究	「現代社会」の学習内容を踏まえ、現代の諸課題に対する多様な見方や考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を育てる。
ハイレベル化学	「化学基礎」や「化学」の学習内容を基礎として、化学に関する様々な題材に取り組み、化学的に探究する能力と態度を育てる。

(3) 総合的な学習の時間

学年	単位数	内 容 等
1年	1単位	社会人講話・地域学習を通して地域社会が抱える課題に対する認識を深め、社会にどのように関わり、貢献できるかを考察する。
2年	1単位	1年次に学んだことを踏まえ、地域社会が抱える課題や、自己の興味・関心・進路希望等に応じた課題を設定し、解決に向けて、社会にどのように貢献できるかを探究する。
3年	1単位	1、2年次に学んだことを踏まえ、課題設定から解決策までをまとめ、地域社会への貢献に向けて、成果を発信する。

(4) 科目選択例

○ 国公立大学文型を目指すAさんの例<ハイレベルコース(仮称)>

											選択科目																				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		現代社会		数学Ⅱ				数学B		体育	保健	C英語Ⅱ				英語表現Ⅱ		家庭基礎		日本史B		国語研究		生物基礎		総合		LHR	

											選択科目																				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		体育		C英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		日本史概説				テーマ数学ⅠAⅡB				政治・経済		理科特講		総合		LHR					

○ 国公立大学理型を目指すBさんの例<ハイレベルコース(仮称)>

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		現代社会		数学Ⅱ				数学B		体育	保健	C英語Ⅱ				英語表現Ⅱ		家庭基礎		物理基礎		地理A		化学		総合		LHR	

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		体育		C英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		物理				数学Ⅲ				グローバル地理		化学		総合		LHR					

○ 私立大学理型を目指すCさんの例<ハイレベルコース(仮称)>

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		現代社会		数学Ⅱ				数学B		体育	保健	C英語Ⅱ				英語表現Ⅱ		家庭基礎		生物基礎		地理A		化学		総合		LHR	

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		体育		C英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		生物				数学Ⅲ				ハイレベル化学		化学		総合		LHR					

○ 国公立大学文型を目指すDさんの例

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		現代社会		数学Ⅱ				体育		保健	C英語Ⅱ				英語表現Ⅱ		家庭基礎		日本史B		生物基礎		古典講読		英語講読		総合		LHR

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		体育		C英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		世界史概説				政治・経済		理科特講		詳解古典		テーマ数学ⅠA		総合		LHR					

○ 国公立大学理型を目指すEさんの例

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		現代社会		数学Ⅱ				体育		保健	C英語Ⅱ				英語表現Ⅱ		家庭基礎		物理基礎		地理A		数学B		化学		総合		LHR

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		体育		C英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		物理				化学		数学Ⅲ				数学特講		総合		LHR					

○ 私立大学文型を目指すFさんの例

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		現代社会		数学Ⅱ				数学B		体育	保健	C英語Ⅱ				英語表現Ⅱ		家庭基礎		日本史B		古典講読		生物基礎		総合		LHR	

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		体育		C英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		日本史概説				政治・経済		国語表現		英語特講		英語理解		総合		LHR					

○ 医療系を目指すGさんの例

2年次

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B			古典B		現代社会		数学Ⅱ			体育			保健	C英語Ⅱ		英語表現Ⅱ		家庭基礎		生物基礎			地理A		美術Ⅰ		化学		総合		LHR

3年次

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		体育			C英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		生物				数学特講		医療生物		スポーツと栄養		医療英語		総合		LHR				

○ 保育系を目指すHさんの例

2年次

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B			古典B		現代社会		数学Ⅱ			体育			保健	C英語Ⅱ		英語表現Ⅱ		家庭基礎		日本史B		生物基礎		ファッション造形基礎		音楽Ⅱ		総合		LHR	

3年次

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		体育			C英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		地域と食文化		スポーツと栄養		総合音楽		子どもの発達と保育		ファッション造形		フードデザイン		総合		LHR				

○ 高度な英語力を身に付けて、海外に留学したいIさんの例

2年次

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B			古典B		現代社会		数学Ⅱ			体育			保健	C英語Ⅱ		英語表現Ⅱ		家庭基礎		日本史B		生物基礎		書道Ⅰ		英語購読		総合		LHR	

3年次

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		体育			C英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		世界史概説				イングリッシュ・スピーキング		英語理解		国語表現		グローバル地理		総合		LHR				

○ ビジネスの視点を身に付けて、将来は地域に貢献したいJさんの例

2年次

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B			古典B		現代社会		数学Ⅱ			体育			保健	C英語Ⅱ		英語表現Ⅱ		家庭基礎		物理基礎		地理A		マーケティング		スポーツⅡ		総合		LHR	

3年次

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		体育			C英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		課題研究		ビジネス実務		国語表現		スポーツ科学		情報処理		音楽Ⅱ		総合		LHR				

○ 消防士や警察官を目指すKさんの例

2年次

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B			古典B		現代社会		数学Ⅱ			体育			保健	C英語Ⅱ		英語表現Ⅱ		家庭基礎		日本史B		生物基礎		一般数学		一般社会		総合		LHR	

3年次

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代文B		古典B		体育			C英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		日本史概説				スポーツⅥ		国語表現		詳解古典		スポーツⅡ		総合		LHR				

(5) 平成31、32年度の桐生南高等学校及び桐生西高等学校入学者の教育課程

平成31年度、32年度入学者については、両校が統合に向けて定めた教育課程にのっとるものとする。

【参考】学校の沿革

	桐生南高等学校	桐生西高等学校
昭和38年 1 月	群馬県立桐生南高等学校として 設立認可	
昭和38年 4 月	群馬県立桐生南高等学校として 開校	
昭和41年 2 月	開校記念・校舎落成記念式典挙行	
昭和54年11月		群馬県立桐生西高等学校として 設立認可
昭和55年 4 月		群馬県立桐生西高等学校として 開校
昭和56年11月		開校記念・校舎落成記念式典挙行
平成 4 年11月	創立三十周年記念式典挙行	
平成14年11月	創立四十周年記念式典挙行	
平成21年11月		創立三十周年記念式典挙行
平成24年11月	創立五十周年記念式典挙行	
平成31年11月		創立四十周年記念式典（予定）
平成33年 4 月	新高等学校開校 (桐生南高校創立58年、桐生西高校創立42年)	